

# 授業改善書

科目名	学校臨床心理学
担当者	杉山雅宏

## 授業の概要

不登校・いじめ・学級崩壊など学校現場で問題となっているテーマを取り上げ、改善策、対処法などについて検討する。  
多くの事例を取り上げ、グループディスカッション、コミュニケーション能力を高めるためのグループワークなど、参加型の授業も取り入れる。

## 授業の問題点

- ・学校に対するネガティブな印象が強いと、ディスカッションなどでは議論が偏る展開となる。
- ・履修する学年も特定の学年に指定されていないため（人間文化は4年）、経験の幅がことなる。
- ・他学科履修の学生への配慮（基礎的知識にバラつきがある）。

## 学生の授業満足度

- ・学生さんは概ね講義の進行・内容に満足されていたようである。

## 授業改善の課題と方策

- ・具体的な事例を紹介し、臨床心理学に興味・関心を抱いていただくような工夫を試みた。
- ・少人数のグループを構成し、毎時間、学生同士が自分の考えを発表できるような場面を創出した。
- ・学生からの質問には毎時間応えるようにした。
- ・学生さんが私語をしないような工夫を心みたい。

## その他

# 授業改善書

科目名	児童青年心理学
担当者	杉山雅宏

## 授業の概要

- ・ 児童期の発達上の問題点について理解する
- ・ 青年期の発達上の問題について理解する
- ・ 小学生から大学生に至るまでの発達上の課題について理解する。

## 授業の問題点

- ・ 1時間目の講義でも参加していただけるような興味深い講義の展開。
- ・ 自身が経験してきたことを振り返り、今後のキャリア形成の参考にする。
- ・ 今まで学んだ専門科目の復習。

## 学生の授業満足度

- ・ 学生さんは概ね講義の進行・内容に満足されていたようである。

## 授業改善の課題と方策

- ・ 予習・復習を促す講義の展開
- 自宅学習課題、アクティブラーニングのさらなる導入
- ・ 一人で取り組みのではなく、ともに考える姿勢を身につけさせる工夫。

## その他

# 授業改善書

科目名	学校臨床心理学
担当者	杉山雅宏

## 授業の概要

人間の発達を概観し、生きていくうえで過去を整理して目標を設定することに役立つように、対人関係・生涯発達・親子関係の心理などについて学び、広く人間関係の心理を学ぶ。世の中で関心を集めている話題（恋愛問題、犯罪・非行問・ネット社会のトラブルなど）についても概観し、生きる上での参考になるような問題について、心理学を切り口として考えていく。

## 授業の問題点

- ・心理学を専門としない他学科（心理学科以外）の学生さんを対象とした講義であるため、興味・関心など個人差が大きい。
- ・履修する学年も特定の学年に指定されていないため、経験の幅がことなる。

## 学生の授業満足度

概ね満足していただいている結果でした。

## 授業改善の課題と方策

- ・心理テストなどを多く取り入れ、学生さんが自分を見つめることができる時間を大切にしました。
- ・その際、必ず振り返りの時間を設けるような配慮をした。
- ・具体的な事例を紹介し、日常生活の活かせる心理学の基礎の定着を図った。
- ・少人数のグループを構成し、毎時間、学生同士が自分の考えを発表できるような場面を創出した。
- ・学生からの質問には毎時間応えるようにした。
- ・レポート課題の設定については、学生さんの自主性に委ねた。

## その他

--

# 授業改善書

科目名	専門演習
担当者	杉山雅宏

## 授業の概要

- ・不登校・いじめ・学級崩壊など学校現場で問題となっているテーマを取り上げ、改善策、対処法などについて検討する。
- ・各自の関心のあるテーマに従い、レポートをまとめ発表する。

## 授業の問題点

- ・文献検索の方法をメディアセンターに直接出向き調べさせるなど、自主的に学ぶ姿勢が身に付いていない。
- ・レポートの書き方について、基礎的な知識が不足している。

## 学生の授業満足度

- ・学生さんは概ね講義の進行・内容に満足されていたようである。

## 授業改善の課題と方策

- ・具体的な事例を紹介し、臨床心理学に興味・関心を抱いていただくような工夫を試みた。
- ・少人数のグループを構成し、毎時間、学生同士が自分の考えを発表できるような場面を創出した。
- ・学生からの質問には毎時間応えるようにした。
- ・学生さんが私語をしないような工夫を心みたい。
- ・協力して学習することの重要性を伝えた。

## その他